

市民の声（令和4年10月～12月分）

総括表

分野	計	対応別内訳						
		対応済み	実施中	現地調査済み	事業化検討中	対応検討中	国県要望中	対応不可
土木	13	0	0	0	7	6	0	0
文化・スポーツ・観光・交流	0	0	0	0	0	0	0	0
戸籍等・国保・年金・税	1	0	0	0	0	1	0	0
生活環境	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉・子育て・健康	2	0	1	0	0	1	0	0
農林業、商工業	7	0	0	0	1	6	0	0
交通・住宅・公園	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・学校	0	0	0	0	0	0	0	0
国等への要望依頼	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	23	0	1	0	8	14	0	0

【対応種別】

- 対応済み 要望内容が全て実現したもの
- 実施中 実施中または工事中のもの
- 現地調査済み 現地調査、現地確認を終えたもの
- 事業化検討中 3年以内をめどに予算化のための調査、検討をしているもの
- 対応検討中 中長期的に調査・検討すべきもの
- 国県要望中 国または県へ要望中のもの
- 対応不可 市が対応すべきでないもの、または明らかに実現不可能な要望など

市民の声（令和4年10月～12月分）

【分野：土木】

No.	受付日	市からの回答方法	要望項目	要望者の区分	要望方法	地区名	担当課	要望内容	市の考え方	対応区分	対応状況	対応時期
1	R4.10.5	懇談会	道路補修	団体	文書	釈迦内	土木課	町内の市道のマンホールの蓋が道路より少し高く、除雪車での除雪に支障をきたす恐れがあるので、補修工事などお願いしたい。	道路舗装が経年劣化により薄くなっており、マンホール部分が舗装面より高い状態になっていた。また、マンホール自体が高さを調整できない構造であることから、道路補修計画に組み入れた上で、補修の早期実施に向けて取り組んでいく。	事業化検討中		令和 年 月
2	R4.10.5	懇談会	河川整備	団体	文書	釈迦内	土木課	大森川の河川敷や法面には樹木が繁茂していることから、今後、8月豪雨のようなときは樹木が川側に倒れ、大きな被害が出るのが心配される。さらに、両岸で法面が洗掘された箇所が多く見受けられるので、樹木の処理とともに早急に対処をお願いしたい。	大森川の整備については、地区全体の排水を考慮し、洗掘箇所の補修や堆積土砂の搬出など詳細な検討が必要と考えているが、8月の大雨による災害復旧業務を優先している状況にあるため、今後改めて町内会と協議しながら、対応を検討していく。	対応検討中		令和 年 月
3	R4.10.5	懇談会	道路補修	団体	文書	釈迦内	土木課	奥羽線陸橋と旧三ツ倉サイダー間の法面が急で、自転車による事故等があると大惨事になるため、防護柵を作ってほしい。	10月27日に、路肩がない現状や法面が急であることを確認した。その結果をもとに、道路補修計画に組み入れ、土留めなどの工法を検討していく。	対応検討中		令和 年 月
4	R4.10.5	懇談会	側溝補修	団体	文書	釈迦内	土木課	側溝に蓋をお願いしたい（側溝1本分）。	今年度中に側溝の部分的な入れ替えを実施する予定である。	事業化検討中		令和 年 月
5	R4.10.5	懇談会	災害復旧	団体	文書	釈迦内	土木課	乱川上流部について、大雨のときの損壊箇所の早期復旧をお願いしたい。	乱川右岸の被災箇所については、降雪前に復旧できるよう準備を進めていく。また、左岸の被災箇所については、今年度中に「土のう積み」を実施する予定としている。	事業化検討中		令和 年 月

市民の声（令和4年10月～12月分）

【分野：土木】

No.	受付日	市からの 回答方法	要望項目	要望者の区分	要望方法	地区名	担当課	要望内容	市の考え方	対応区分	対応状況	対応時期
6	R4.10.5	懇談会	道路補修	団体	文書	釈迦内	土木課	釈迦内方面から町内の中ほどを左折し、祖霊社までを整備計画にあげていただき、全面舗装をお願いしたい。毎年、傷みが激しい箇所の修繕をしてもらっているが、それも併せてお願いしたい。	舗装補修については、同様の要望が市内各町内から多数寄せられ、多くの町内に待っていただいている現状にあり、市では舗装の老朽度や交通量を鑑み、危険度の高いところから順次施工を進めている。ご要望の路線については、既に舗装補修計画に組み入れているので、引き続き早期実施に向け取り組んでいく。	事業化検討中		令和 年 月
7	R4.10.5	懇談会	暗きよ改修	団体	文書	釈迦内	土木課	市道横断暗きよが小さいのか、降雨が飲み込めず周辺住宅及び市道に湛水する。市道の湛水は通行上非常に危険なため、早急に暗きよの改修をお願いしたい。併せて下流水路の拡幅も検討願いたい。	入れ替えを前提とした側溝維持修繕計画に組み入れ、早期実施に向け取り組んでいく。また、下流側の水路拡幅については、整備計画の策定から工事実施まで時間を要するとともに、多大な整備費用が必要となることから、不良箇所の改善を優先した修繕に努めていく。	事業化検討中		令和 年 月
8	R4.10.5	懇談会	暗きよ改修	団体	文書	釈迦内	土木課	現在の乱川堤防の暗きよでは、降雨が排水できず、下流田面及び住宅に流れ込んでいる。そのたびに、近隣住民が土のうを設置し、濁水防止をしている。堤防の暗きよ施設の構造を検討し、改修をお願いしたい。	乱川堤防の暗きよ施設の改修については、調査を継続しながら、側溝維持修繕計画に組み入れ対応を検討していく。また、暗きよ施設の改修が大規模になる場合は、接続する河川の管理者である北秋田地域振興局と協議し、有効な対応策について、貴町内会と相談しながら検討していく。	対応検討中		令和 年 月
9	R4.10.14	懇談会	交通安全施設	団体	文書	大館南	土木課	新町方向から歩行者や自転車利用者が直進及び右折をしたとき、車が文化会館やたばこ会館方面から市役所方面に直進したり、新町方面に左折したりする際に、石塚医院のブロック塀で死角になり、非常に危険な状態であるため、カーブミラーを設置してほしい。	カーブミラーを設置できるスペースが限られ、ドライバーからは逆に見えづらいことが予想されることから、交差点の手前に、ドライバーへ注意を促す看板を設置するなど、カーブミラーに代わる抜本的な対策が必要であり、今後、見通しの確保などを含めた対策を検討していく。	対応検討中		令和 年 月

市民の声（令和4年10月～12月分）

【分野：土木】

No.	受付日	市からの回答方法	要望項目	要望者の区分	要望方法	地区名	担当課	要望内容	市の考え方	対応区分	対応状況	対応時期
10	R4. 10. 14	懇談会	交通安全施設	団体	文書	大館南	土木課	町内の美容室前丁字路は、カーブミラー等の設置がされておらず、各方向から自動車や人の接近が分かりづらくなっている。この箇所は、生活道路として使用されており、通学路や近辺の住民の方々の散歩、運動コースとしても需要があることから、事故が起きるのを未然に防ぐため、何らかの対応をお願いしたい。	ごみ収集箱の脇と電力柱のスペースに、電力柱を巻き込む形での設置が最適と考えている。設置場所が道路敷地以外となるため、用地の調査を含め土地所有者の協力が不可欠となる。交通安全施設計画に組み入れ、貴町内会と相談しながら設置に向けて取り組んでいく。	事業化検討中		令和 年 月
11	R4. 10. 14	懇談会	防草シート	団体	文書	大館南	土木課	有浦・東台線及び新町・長根山線の街路樹下の除草シートが老朽化し、破損状況がひどく、雑草が伸び放題となっている。除草シートの取り替え・補修を検討願いたい。予算等の都合ですぐできない場合は、年2回程度の雑草の下刈りをお願いしたい。	防草シートの取り替えについては、傷みが激しい箇所から順次、複数年を掛けて取り替えを行っていく。なお、取り替えが完了するまで時間を要することから、道路パトロールによる状況監視に努め、雑草の下刈りを実施していく。	事業化検討中		令和 年 月
12	R4. 10. 21	現地確認	道路補修	個人	電話	下川沿	土木課	餅田市営住宅内の市道の舗装全面入れ替えについて、以前から要望しているがいつになったら舗装ができるのか。舗装状態が悪く、車が壊れたら誰が責任をとるのか。現場を確認してほしい。	舗装補修計画へ組み入れ、優先順位に応じて補修を実施していくことを説明した。	対応検討中		令和 年 月
13	R4. 11. 22	電話	道路改良	個人	電話	上川沿	土木課	不動産会社で宅地造成しているところのカーブについて、見通しが良くなるように改修してほしい。	すぐに対応できないことを伝え、後日、現地調査後に今後の計画の有無を伝えることとした。	対応検討中		令和 年 月

市民の声（令和4年10月～12月分）

【分野：戸籍等、国民健康保険、年金、税】

No.	受付日	市からの回答方法	要望項目	要望者の区分	要望方法	地区名	担当課	要望内容	市の考え方	対応区分	対応状況	対応時期
1	R4.10.15	メール	市税納付	個人	メール	—	収納課	市民税・県民税はクレジットカード払いが可能か？	検討中であることを回答した。	対応検討中		令和 年 月

市民の声（令和4年10月～12月分）

【生活環境】

No.	受付日	市からの回答方法	要望項目	要望者の区分	要望方法	地区名	担当課	要望内容	市の考え方	対応区分	対応状況	対応時期
1	R4.10.5	懇談会	ゴミ出し	団体	文書	釈迦内	環境課	町内の住人から、ゴミの集約所が遠く将来的に車に乗れなくなるとゴミ出しが大変になるため、集約所を作ってほしい。	最寄りのごみ一時預かり所までの距離が800m以上もあることから、将来的なごみ出し支援対策として、大館市ごみ一時預かり所の設置基準等に関する要綱の設置要件をもとに設置に向けて、町内会と協議していく。	事業化検討中		令和 年 月
2	R4.10.14	懇談会	空き家	団体	文書	大館南	危機管理課	現在、町内にある民家が廃屋になって、一部倒壊し草木が生い茂っている。付近の方々から撤去できないかと要請されているが、現在住んでいる方が不在で物騒な状況である。私有財産でもあり対策に制限があると思うが、撤去していただくことはできないか。	10月24日に現地調査を行ったところ、適正に管理されていない状態であることを確認した。所有者等（相続者等）の特定作業を進めているが、建物登記簿謄本などがない建物であるため、所有者等に関する情報がなく、また、周辺世帯からも特定につながるような情報もない状況である。貴町内会においても所有者等の情報提供をお願いしたい。	対応検討中		令和 年 月
3	R4.11.30	電話	消火栓の移設	個人	電話	田代	警防課	道路の脇に消火栓がある。雪が多く降った場合でも消防車が使用できる場所に移設して欲しい。	消火栓の移設が望ましい状況であったため、移設に向け検討すると伝えた。	事業化検討中		令和 年 月

市民の声（令和4年10月～12月分）

【分野：福祉、子育て、健康】

No.	受付日	市からの回答方法	要望項目	要望者の区分	要望方法	地区名	担当課	要望内容	市の考え方	対応区分	対応状況	対応時期
1	R4.12.23	文書	専任手話通訳者の設置	団体	文書	—	福祉課	市役所に専任手話通訳者の設置。	人材確保等の課題を解決しながら配置に向けて対応する。	対応検討中		令和 年 月

市民の声（令和4年10月～12月分）

【分野：農林業・商工業】

No.	受付日	市からの回答方法	要望項目	要望者の区分	要望方法	地区名	担当課	要望内容	市の考え方	対応区分	対応状況	対応時期
1	R4.10.5	懇談会	側溝のしゅんせつ	団体	文書	釈迦内	農政課	農免農道協の側溝の整備をお願いしたい。各所で詰まっている。	現地調査を行い、側溝のしゅんせつが必要な箇所を確認した。農道の延長が長いことから、年次計画を立てた上で、順次実施していく。	事業化検討中		令和 年 月
2	R4.10.5	懇談会	釈迦池遊歩道整備	団体	文書	釈迦内	農政課	倒木があり、また雑草が茂り通行不能となっているので、整備をお願いしたい。	釈迦池については、整備から20年近くが経過し、雑草が繁茂するなど、散策には適さない状況となっているが、国道7号からのアクセスや自然環境が良いことなど、活用できる要素や魅力が数多くあることから、適正な維持管理に努めていく。なお、釈迦池周辺では、クマの目撃情報が多数寄せられていることから、遊歩道の利用に当たってはクマと出会わない、引き寄せない対策を心掛けていただきたい。	対応検討中		令和 年 月
3	R4.10.14	懇談会	市役所周辺の整備と再開発	団体	文書	大館南	商工課 都市計画課	市役所周辺の整備は、城南地区だけでなく、大館市民全体がワクワクして待ち望んでいる。旧秋北ホテルも（必要であれば）、できるだけ早期の解体を進めるような働きかけをお願いしたい。かつての大館のシンボルだった旧秋北ホテルの跡地に、「人々が集える憩いの場」や「年配者が歩いて行ける商業施設」ができることを、強く待ち望んでいます。市としての見解と見通しを伺いたい。	平成30年度に策定した「都市再興基本計画」において、市街地中心部を賑わい創出の拠点として位置付けするとともに、令和3年度には「大館市バリアフリー基本構想」を策定し、城南地区を始めとする市役所周辺を重点整備地区へと位置付けした。また、都市の機能として欠かせない商業施設の充実を図る上で、民間投資が誘発されるような環境づくりが重要であるため、人の流れを生み出すことが不可欠であり、関係性人口の拡大を図るほか、インバウンド観光客数を着実に取り込むなど、民間の投資意欲の喚起に努めていく。なお、旧秋北ホテルについては、現行の耐震化基準を満たしておらず、民間企業の所有施設であるが、秋田県とともに耐震化や解体を含めた改善指導を行っている。	対応検討中		令和 年 月

市民の声（令和4年10月～12月分）

【分野：農林業・商工業】

No.	受付日	市からの回答方法	要望項目	要望者の区分	要望方法	地区名	担当課	要望内容	市の考え方	対応区分	対応状況	対応時期
4	R4.10.21	口頭	山地災害防止	個人	来庁	田代	林政課	所有森林の所在の確認。山地災害危険地区を森林経営管理制度による対応を検討してほしい。	GPSによる位置確認や測量による境界復元など、簡易性と精度について説明した。山地災害防止の観点から、他自治体の事例などを調査し、今回の要望・指摘を契機に検討する。	対応検討中		令和 年 月
5	R4.10.27	文書	大館市創業支援補助金	個人	メール	—	商工課	既に創業している者でも補助が受けられるように新たな制度を策定するか、既存の制度を見直して救済措置をとれるようにしてほしい。	本補助金は、国の指導を受け策定した創業支援事業計画において、事前の個別経営指導を必須としており、事後の申請を補助対象とすることは制度設計上困難と考えるが、創業直後は収入が安定しない等、経営的に厳しい状況となるケースも十分想定されることから、本補助金とは別に、創業後に利用可能な支援制度の創設について検討していく。	対応検討中		令和 年 月
6	R4.10.27	文書	創業支援補助金	個人	メール	—	商工課	市ホームページの創業支援のページや補助金のチラシの内容を充実化させてほしい。	要望を参考にしながら、市ホームページや制度を周知するためのチラシの内容の充実を図っていく。	対応検討中		令和 年 月
7	R4.10.27	文書	創業支援補助金	個人	メール	—	商工課	補助対象者は確実に助成を受けられる仕組みをつくってほしい。	個人事業主が創業を円滑に行うことができるよう、要望を参考にしながら、関係各機関への情報提供を検討していく。	対応検討中		令和 年 月